

令和2年7月吉日

一般社団法人山形県作業療法士会
会員各位

第28回山形県作業療法学会
学 会 長 佐藤 さとみ
実行委員長 村山 眞理子

第28回山形県作業療法学会開催のご案内

拝啓 盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、COVID-19の影響により会員の皆様も、職務や生活に不便を強いられていることと思います。一日も早い終息と安寧の日々が来ることを願うのみです。士会においても去る5月16日、17日開催予定だった第27回学会が、やむをえず誌上学会となりました。久保田英司学会長はじめ実行委員の皆様のご苦労をお察しいたします。

さて、第28回山形県作業療法学会の日程が決まりましたのでご案内申し上げます。第28回学会は、来たる令和3年5月8日(土)に『人は作業で生かされている』をテーマに開催いたします。日々の人間としての営みも、手足などの身体を使うこと以外の五感を使った営みも、すべてが作業であり活動です。その営みがアイデンティティをもたらし、生きているという実感に繋がるものだとしたら「作業」＝「人」ということであり、それを支えることを「わざ(業・技)」とする私たちの職業は、人の根幹に関わる非常に意味深いものといえるのではないのでしょうか。「生きる」という主体性から「生かされている」という受動的なものとして受け止めることは「感謝」という謙虚さをもたらします。今学会は、私たちの「わざ(業・技)」を、人が生きていく上でなくてはならないもの・人を生かすものとして、作業療法の本質を考える機会になれば幸いです。

特別講演でお招きする石川佐智子先生は、作業を幅広く対象者の方々に提供し、対象者の方々のアイデンティティを支えておられる作業療法士です。また、教育講演の平山和美先生は、高次脳機能障害を深く研究してこられた著名な方であり、最近の知見やトピックスなども加えて興味深いお話を頂戴する予定です。

尚、開催概要ならびに演題募集要項、チラシを同封させていただきました。多くの方々の参加および演題発表をお待ちしております。

参加された皆様にとって意味深い時間を共有し、学会に参加するという「作業」や演題を発表するという「作業」も含めて「生かされている」ことに向き合う時間になりますことを願っております。

敬具